

事後評価報告書

CONCERT-Japan プロジェクト(欧州連合(EU)との日本-EU 共同研究)「災害に対する回復力」領域

(支援期間:平成 25~26 年度)

1. 研究課題名:「地震に対して強靱な社会を創るための道路ネットワーク」

2. 研究代表者名:

日本側: 京都大学 大学院工学研究科 教授 谷口 栄一

相手側: カッセル大学 工学研究科 教授 Uwe E. Dorka(ドイツ)

3. 総合評価: A

4. 事後評価結果

(1)研究成果の評価について

本研究は、地震に対して強靱で回復力のある道路ネットワークの評価と改良のための方法論を提案することを目的としている。地震時の避難者の行動に対する行政や住民間での情報の有無が避難行動に及ぼす影響を評価しており、道路ネットワークの利用も含めた貴重な学術成果も得られていることは評価できる。これらの研究成果は、評価の高い交通関係の国際学術誌に数多く掲載されており、学術的な成果は高いと評価できる。一方、相手側研究チームとの共著論文が少なく、共同研究としてどの程度効果的に実施されたか、より具体的な説明が望まれる。

(2)交流活動の評価について

津波避難時の避難情報と道路ネットワークの効果的な活用に関し、世界を代表する研究機関と研究者が交流できたことは意義深い。本研究では、ワークショップやセミナーが定期的実施されるなど、実に活発な交流が行われている。これらの交流には若手研究者や学生が数多く参加しており、将来的な研究交流の基盤が築かれたことは評価できる。しかし、それぞれの役割や関係性がもう少し明確になっていると、本交流の成果をより理解しやすくなると思われる。若手研究者の参加も含めて本共同研究は継続される予定であることから、さらなる若手研究者の交流の継続が、将来的な研究交流基盤の形成に繋がることを期待したい。